「賃貸住宅におけるDIYに関するアンケート」リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

府営住宅においては、高齢化が進んでおり、団地の活性化のためにも若年世帯の入居を促進することが重要である。そのため、原状回復が不要のDIYが可能となる制度の検討を進めている。本調査では府民のDIYに関する意識や需要を調査し今後の検討を進める上での資料とする。

1. 調査仮説

仮説１　DIYの認知度はどの年代においても高いが、DIYへの関心と意欲は若い年代の方が高い。

仮説２　DIYのイメージは若い年代は「おしゃれ」や「自分好みにできる」といったイメージを持っているが、それ以外の年代は「日曜大工」といったイメージを持っている。

1. 調査対象　賃貸住宅に居住している20歳以上の大阪府民1,000サンプル
2. 質問項目

SC1 性別

SC2 年齢
SC3 都道府県

SC4 市町村

SC5 居住形態

SC6 婚姻状況

SC7 職業

本質問　13問

【説明文挿入：DIYの説明】

1. DIYの認知(SA)
2. DIYへの関心(SA)
3. 【Q１知っている】DIYのイメージ(表組・SA)

【説明文挿入：DIYの定義について（原状回復にかかわるもののみ）】

1. DIYをするにあたっての不安(MA)
2. 現在住んでいる賃貸住宅でのDIY経験の有無(SA)
3. 【Q5 経験有】どのようなDIYをしたことがあるか。
4. 【Q5したいと思ったがあきらめた/しなかった】DIYをあきらめた/しなかった理由(MA)
5. DIYをしたいと思うか。(SA)
6. 【Q7 DIYしたい人】どのようなDIYがしたいか(MA)
7. 【Q7 DIYしたい人】なぜDIYしたいと思うか(MA)
8. どのようなサポートがあればしたいと思う/欲しいか(MA)
9. 【Q7 DIYしたい人】賃貸住宅を選ぶ上でのDIY可の重要度(SA)
10. 家族構成(SA)
11. 子どもの有無
12. 世帯収入(SA)
13. 検証方法

仮説１　SC2×Q1、SC2×Q2、SC2×Q8

仮説２　SC2×Q3